

フィルムコンデンサ 最高動作温度が 125°C の X2 フィルムコンデンサ

2021 年 4 月 13 日

TDK 株式会社（社長：石黒 成直）は、EMI 抑止用の新しい金属化ポリプロピレンフィルムコンデンサ MKP-X2 B3292P/Q シリーズを開発、販売開始します。

従来の X2 コンデンサでは最高動作温度は 110°C でしたが、新製品は 125°C までの動作が可能になります。定格電圧は 3005Vac、静電容量範囲は 0.033 μ F から 5.6 μ F の範囲で製品化いたします。さらにリード線間隔は 15、22.5 と 27.5(mm) の製品サイズをご利用いただけます。充填樹脂材料は UL94 V-0 に対応です。

本シリーズのコンデンサは UL 及び EN による国際安全規格を取得し、さらに AEC-Q200 に準拠しています。環境試験特性として 240Vac 通電下において 85°Cx85%RH、500 時間となる THB 試験規格(IEC 60384-14 2013 規格/AMD1:2016)を満たします。

この新しい X2 コンデンサは、高温下かつより過酷な環境状況下での動作が必要な車載用途での EMI 抑制に最適です。

主な用途

- 高温及び過酷な環境状況下での動作が求められる車載用途での EMI 抑制

主な特長と利点

- 最高使用温度は 125degC
- 0.033 μ F から 5.6 μ F まで製品化
- 国際安全規格 UL、EN 取得済、AEC-Q200 準拠

TDK 株式会社について

TDK 株式会社（本社：東京）は、スマート社会における電子デバイスソリューションのリーディングカンパニーを目指しています。独自の磁性素材技術をその DNA とし、最先端の技術革新で未来を引き寄せ（Attracting Tomorrow）、社会の変革に貢献してまいります。

当社は各種エレクトロニクス機器において幅広く使われている電子材料の「フェライト」を事業化する目的で 1935 年に設立されました。主力製品は、積層セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクタ、フェライトコア、高周波部品、ピエゾおよび保護部品等の各種受動部品をはじめ、温度、圧力、磁気、MEMS センサなどのセンサおよびセンサシステムがあります。さらに、磁気ヘッドや電源、二次電池などです。これらの製品ブランドとしては、TDK、EPCOS、InvenSense、Micronas、Tronics、TDK-Lambda があります。

アジア、ヨーロッパ、北米、南米に設計、製造、販売のネットワークを有し、自動車、産業電子機器、コンシューマー製品、そして情報通信機器など幅広い分野においてビジネスを展開しています。2020 年 3 月期の売上は約 1 兆 3000 億円で、従業員総数は全世界で約 107,000 人です。

本文および関連する画像は www.tdk-electronics.tdk.com/ja/210413 からダウンロードできます。

製品の詳細情報は www.tdk-electronics.tdk.com/ja/emi_capacitors で参照できます。

お問合せは marketing.communications@tdk-electronics.tdk.com までお送りください。

報道関係者の問い合わせ先

担当者	所属	電話番号	Email Address
大須賀	TDK 株式会社 広報グループ	+81 3 6778-1055	pr@jp.tdk.com